



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 カルビー株式会社

コード番号 2229 URL http://www.calbee.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊藤 秀二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 平川 功 (TEL) 03-5220-6222

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	120,013	1.4	8,669	△4.7	8,402	△5.1	4,325	△9.7
23年3月期第3四半期	118,343	8.3	9,094	25.5	8,859	22.1	4,789	28.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 4,367百万円(△3.7%) 23年3月期第3四半期 4,534百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年3月期第3四半期	円 銭 134.54	円 銭 131.83
23年3月期第3四半期	166.00	-

(注) 平成23年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24年3月期第3四半期	百万円 102,108	百万円 77,579	% 72.7
23年3月期	99,393	72,924	70.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 74,228百万円 23年3月期 70,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 28.00	円 銭 28.00
24年3月期	-	0.00	-		
24年3月期(予想)				32.00	32.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	2.9	11,000	2.6	10,600	0.3	6,000	41.1	185.75

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 1社 (社名) HAITAI-CALBEE Co., Ltd.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期3Q	32,301,450株	23年3月期	31,917,450株
24年3月期3Q	一株	23年3月期	一株
24年3月期3Q	32,150,572株	23年3月期3Q	28,853,541株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 平成23年1月14日付で、普通株式1株につき50株の株式分割を行っております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 2 平成23年1月14日付で、普通株式1株につき50株の株式分割を行っております。
- 3 平成24年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数32,301,450株により算出しております。
- 4 当社は、平成24年2月1日(水)に機関投資家・アナリスト向け電話会議を開催する予定です。この電話会議の音声情報については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結会計期間	
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) 追加情報	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災の復興需要などにより個人消費は持ち直しつつあるものの、欧州・米国の景気後退懸念と円高の進行により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

スナック菓子市場においては、自粛の動きは解消されつつあるものの、本格回復には至っておりません。

このような環境にあつて、当社グループは、被災した4工場の早期復旧と震災の影響を受けた4月、5月の売上減少を取り戻すべく、新製品の展開や、広告宣伝、店頭プロモーション活動を積極的に展開しました。その結果、5月下旬までに全ての生産ラインを再開でき、6月以降は売上高が順調に回復し、第3四半期連結累計期間の売上高は、120,013百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

利益面では、引続きコスト・リダクションを推進しましたが、原材料価格の上昇や震災の影響に伴う物流費の増加等により、営業利益は8,669百万円（前年同四半期比4.7%減）、経常利益は8,402百万円（前年同四半期比5.1%減）、四半期純利益は4,325百万円（前年同四半期比9.7%減）となりました。

・事業別の状況

(食品製造販売事業)

食品製造販売事業の売上高は、118,233百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。

・スナック菓子

スナック菓子の売上高は、103,585百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

① ポテト系スナック

「ポテトチップス」は、増量キャンペーンや期間限定・地域限定製品の積極的な投入を行いました。震災の影響による減少分をカバーするには至りませんでした。

「じゃがりこ」は、「たらこバター」など期間限定製品が好調で、売上高は前年同四半期を上回りました。

「Jagabee」は、新フレーバー「ペッパー&ソルト」の全国展開などにより、売上高は前年同四半期を上回りました。

② 小麦系スナック

期間限定製品の積極展開を行いました。4月、5月の店頭プロモーションの自粛等が影響し、売上高は前年同四半期を下回りました。

③ コーン系スナック

「マイクポップコーン」や「ドリトス」、「チートス」等の定番製品が堅調に推移し、売上高は前年同四半期を上回りました。

・その他食品（ベーカリー、シリアル食品）

その他食品の売上高は、ベーカリー、シリアル食品が堅調に推移し、14,647百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。ベーカリーは、キャンペーン効果と取扱店舗数の増加により、売上高は前年同四半期を上回りました。シリアル食品は、「フルーツグラノーラ」が生産再開後、堅調に推移したことなどにより、売上高は前年同四半期を上回りました。

(その他)

物流事業及び販売促進ツールの売上高はともに前年同四半期を上回り、1,780百万円（前年同四半期比16.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産は102,108百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,715百万円増加いたしました。この主な要因は、固定資産は減価償却費が取得額を上回ったことにより減少しましたが、売上の増加に伴い売掛金とたな卸資産が増加したことによるものです。

負債は、買掛金は増加しましたが、未払金及び災害損失引当金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1,939百万円減少し、24,529百万円となりました。

純資産は、四半期純利益を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ4,654百万円増加し、77,579百万円となりました。

この結果、自己資本比率は72.7%となり、前連結会計年度末に比べ2.0ポイント上昇しました。また、1株当たり純資産額は2,297円99銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、6,997百万円減少し、11,241百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは2,827百万円の純支出(前年同四半期は4,607百万円の純収入)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益8,456百万円、減価償却費4,947百万円の資金の増加があったものの、売上債権の増加8,481百万円、たな卸資産の増加1,521百万円、法人税等の支払額4,212百万円の資金の減少があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは3,257百万円の純支出(前年同四半期は872百万円の純収入)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出3,156百万円の資金の減少があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは690百万円の純支出(前年同四半期は3,858百万円の純支出)となりました。この主な要因は、ストックオプションの行使による収入614百万円の資金の増加がありましたが、配当金の支払額1,011百万円の資金の減少があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、概ね計画通りで推移しており、平成23年10月28日に発表した業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

日本、中国に次ぐアジアの有望市場である韓国スナック市場でのカルビー製品の販売拡大を図ることを目的として、平成23年7月に韓国の有力菓子メーカーであるHAITAI Confectionery & Foods Co., Ltd.との合弁会社 HAITAI-CALBEE Co., Ltd. を設立し、同社を第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,238	11,241
受取手形及び売掛金	11,139	19,531
たな卸資産	4,276	5,767
その他	3,779	5,767
貸倒引当金	△14	△20
流動資産合計	37,420	42,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,678	20,774
機械装置及び運搬具(純額)	14,550	13,688
土地	10,707	10,729
建設仮勘定	619	916
その他(純額)	922	825
有形固定資産合計	48,478	46,933
無形固定資産		
のれん	4,822	4,671
その他	1,911	1,579
無形固定資産合計	6,734	6,251
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,855	6,729
貸倒引当金	△94	△94
投資その他の資産合計	6,761	6,634
固定資産合計	61,973	59,820
資産合計	99,393	102,108

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,656	—
支払手形及び買掛金	—	7,085
短期借入金	107	73
1年内返済予定の長期借入金	182	—
未払金	3,914	2,555
未払法人税等	2,443	1,578
賞与引当金	3,096	2,202
役員賞与引当金	182	192
災害損失引当金	1,378	57
その他	4,327	5,263
流動負債合計	21,288	19,008
固定負債		
長期借入金	9	6
退職給付引当金	3,335	3,611
役員退職慰労引当金	424	493
資産除去債務	658	666
その他	752	742
固定負債合計	5,180	5,520
負債合計	26,469	24,529
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,744	11,052
資本剰余金	10,312	10,620
利益剰余金	49,938	53,370
株主資本合計	70,995	75,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△62	△17
為替換算調整勘定	△697	△797
その他の包括利益累計額合計	△759	△814
新株予約権	102	101
少数株主持分	2,585	3,249
純資産合計	72,924	77,579
負債純資産合計	99,393	102,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間
 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	118,343	120,013
売上原価	68,382	69,546
売上総利益	49,961	50,467
販売費及び一般管理費	40,866	41,797
営業利益	9,094	8,669
営業外収益		
受取利息	8	17
受取配当金	55	51
不動産収入	51	51
再商品化委託料精算金	98	79
その他	179	220
営業外収益合計	393	421
営業外費用		
支払利息	51	4
為替差損	405	535
その他	172	147
営業外費用合計	628	687
経常利益	8,859	8,402
特別利益		
固定資産売却益	953	10
助成金受入益	27	230
負ののれん発生益	—	175
貸倒引当金戻入額	57	—
災害損失引当金戻入額	—	163
その他	58	1
特別利益合計	1,096	581
特別損失		
固定資産売却損	27	29
固定資産除却損	358	56
災害による損失	—	258
関係会社整理損	—	129
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	351	—
その他	198	53
特別損失合計	935	528
税金等調整前四半期純利益	9,019	8,456
法人税、住民税及び事業税	3,854	3,391
法人税等調整額	33	451
法人税等合計	3,887	3,843
少数株主損益調整前四半期純利益	5,131	4,613
少数株主利益	342	287
四半期純利益	4,789	4,325

四半期連結包括利益計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,131	4,613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	44
為替換算調整勘定	△536	△289
その他の包括利益合計	△597	△245
四半期包括利益	4,534	4,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,394	4,270
少数株主に係る四半期包括利益	140	97

第3四半期連結会計期間
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	42,077	44,028
売上原価	23,548	24,470
売上総利益	18,528	19,557
販売費及び一般管理費	14,073	14,781
営業利益	4,454	4,775
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	7	10
不動産収入	16	17
為替差益	—	71
その他	52	45
営業外収益合計	81	152
営業外費用		
支払利息	12	0
不動産費用	5	5
為替差損	193	—
減価償却費	10	6
その他	10	11
営業外費用合計	232	24
経常利益	4,303	4,903
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券評価損戻入益	171	13
その他	5	—
特別利益合計	177	14
特別損失		
固定資産売却損	20	1
固定資産除却損	154	18
投資有価証券売却損	162	—
その他	1	0
特別損失合計	338	20
税金等調整前四半期純利益	4,142	4,897
法人税、住民税及び事業税	1,596	2,064
法人税等調整額	63	189
法人税等合計	1,660	2,253
少数株主損益調整前四半期純利益	2,482	2,643
少数株主利益	128	90
四半期純利益	2,353	2,553

四半期連結包括利益計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,482	2,643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	△8
為替換算調整勘定	△84	122
その他の包括利益合計	△100	114
四半期包括利益	2,382	2,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,294	2,616
少数株主に係る四半期包括利益	87	142

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,019	8,456
減価償却費	5,259	4,947
のれん償却額	432	441
負ののれん発生益	—	△175
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	351	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△317	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△235	△891
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25	10
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20	281
前払年金費用の増減額 (△は増加)	131	105
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	77	68
受取利息及び受取配当金	△63	△69
支払利息	51	4
為替差損益 (△は益)	388	440
助成金受入益	△27	△230
投資有価証券売却損益 (△は益)	127	△1
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	—
固定資産売却損益 (△は益)	△926	19
固定資産除却損	358	56
災害損失	—	95
関係会社整理損	—	129
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,676	△8,481
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10	△1,521
仕入債務の増減額 (△は減少)	461	1,473
未収入金の増減額 (△は増加)	△43	△95
未払金の増減額 (△は減少)	193	△992
未払消費税等の増減額 (△は減少)	77	△169
その他	△22	△1,512
小計	8,605	2,395
利息及び配当金の受取額	108	72
利息の支払額	△53	△5
助成金の受取額	27	230
災害損失の支払額	—	△1,308
法人税等の支払額	△4,079	△4,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,607	△2,827

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,206	△3,156
有形固定資産の売却による収入	3,118	126
無形固定資産の取得による支出	△258	△228
無形固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△14	△13
投資有価証券の売却による収入	208	7
関係会社株式の取得による支出	△93	△13
貸付けによる支出	△79	△99
貸付金の回収による収入	5	108
差入保証金の差入による支出	△30	△124
差入保証金の回収による収入	277	203
その他	△56	△68
投資活動によるキャッシュ・フロー	872	△3,257
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△851	△26
長期借入れによる収入	3	—
長期借入金の返済による支出	△2,188	△184
ストックオプションの行使による収入	52	614
配当金の支払額	△692	△893
少数株主への配当金の支払額	△114	△117
リース債務の返済による支出	△67	△82
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,858	△690
現金及び現金同等物に係る換算差額	△209	△221
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,410	△6,997
現金及び現金同等物の期首残高	4,469	18,238
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	27	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,908	11,241

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
該当事項はありません。

(5) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
該当事項はありません。